

The Japanese Society for the Study on Hoikusha Education

日本保育者養成教育学会

第9回研究大会 プログラム

大会テーマ

「保育職の社会的認知を高める未来戦略」

VUCA の時代に生きる保育者像の創出

2025年3月1日（土）開催



「親子の白鳥」



「大空へと羽ばたく」

主催校

鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部

日本保育者養成教育学会

The Japanese Society for the Study on Hoikusha Education

第9回研究大会 プログラム

大会テーマ

「保育職の社会的認知を高める未来戦略」

VUCAの時代に生きる保育者像の創出

日時：2025年3月1日（土）

主催校

鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部

目次

日本保育者養成教育学会 第9回研究大会の開催にあたって……………	1
----------------------------------	---

大会参加者の方へ

大会スケジュール……………	2
---------------	---

ポスター発表をされる皆様へ……………	5
--------------------	---

各セッションの紹介

基調講演……………	6
-----------	---

ポスター発表……………	8
-------------	---

諸規程

「大会研究発表に関する規定」

「大会における座長および分科会運営に関する規程」

日本保育者養成学会 第9回研究大会の開催にあたって

大会テーマ：「保育職の社会的認知を高める未来戦略」

VUCA の時代に生きる保育者像の創出

2025年3月1日（土）に日本保育者養成教育学会第9回研究大会が、鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部の共同開催で、久しぶりの対面による大会を開催する運びとなりました。第9回研究大会は、「保育職の社会的認知を高める未来戦略～VUCAの時代に生きる保育者像の創出～」と掲げました。

我が国の保育者養成教育の歴史は戦後の教育制度改革以降、大いに発展しました。戦後すぐに幼稚園の教員免許制度が整備され、大学における教職課程認定制度の導入をはじめ、保母資格要件における厚生大臣から指定を受けた保母養成施設学校等の制度(当時)が確立して以来70年以上の歴史を刻み、質の高い保育者の創出を目指し、大学等で行われる養成教育の質向上を図るための改革が進められています。しかしながら保育者養成教育は今、多くの課題を抱えているのが現状です。

子どもを取り巻く環境の変化と共に、保育ニーズへの高まりを受け、「保育職」への社会的期待が多岐にわたってくると、その仕事の重圧や負担感が注目されるや否や、以前にはあった保育職への肯定的なイメージが無くなりつつあります。先の見えないVUCAの時代を支えるべく保育職は、ますます厳しい現実と向き合っているとと言えます。その影響を受けて保育者養成校に進学する学生数の減少傾向は、全国の養成大学等の抱える深刻な問題になっています。「保育職」の職業的意義や魅力を理解されず、その社会的認知は低下するばかりです。

保育者養成教育は、今後どう進めば良いのか、従来の養成教育が歩んできた歴史的遺産にとらわれず、先の見えないVUCAの時代に、保育職が生き残るための戦略提案が喫緊の課題であると思います。

第9回研究大会では、保育者養成教育の未来像を描くに当たり、養成校当事者性を含み各界の視点を取り入れながら可視的に課題を見だし、保育者養成教育の活力を再生する契機となることを願ってやみません。

さて、今回の大会は2つの基調講演、そして皆様の日頃の研究成果を発表する場は「ポスター発表」に限定し対面実施をすることに致しました。情報交換会も予定する中で、VUCAの時代を見据えた保育者養成教育のあり方について、自由闊達な討議が行われ、全国の会員の皆様との有意義な交流の場となるよう担当校として準備に当たって参りたいと思います。

多くの皆様のご参集を心よりお待ちしております。

日本保育者養成教育学会 第9回研究大会
大会委員長 松田広則（鎌倉女子大学）
実行委員長 小泉裕子（鎌倉女子大学短期大学部）

大会参加者の方へ

【大会スケジュール】

2025年3月1日(土)

時刻	大講義室(3階) _____【開会式、基調講演、総会】 コミュニティモール(1階) __【ポスター発表】	コミュニティモール (1階)															
9:00		【受付】 9:00～16:30 【クローク】 9:00～16:30 【企業展示・販売】 9:00～16:30															
9:45	【開会式】																
10:00	【基調講演Ⅰ】 鎌倉市教育委員会教育長 高橋 洋平 氏 『学習者中心の学びへのチャレンジ — 鎌倉市教育大綱からこどもの未来を考える —』																
11:10	【基調講演Ⅱ】 日本保育者養成教育学会理事 和洋女子大学 教授 矢藤 誠慈郎 氏 『養成保育士と試験保育士に寄せる期待』																
12:15	総会																
12:45	休憩 3-D 教室・3-E 教室(3階) 昼食の場としてご利用いただけます																
14:00	【ポスター発表】 第1セッション(14:00～15:00) ※前半 14:00～14:30_発表番号:奇数 後半 14:30～15:00_発表番号:偶数 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>発表区分</td> <td>発表区分</td> <td>発表区分</td> <td>発表区分</td> <td>発表区分</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E + F</td> </tr> <tr> <td>PA1～26</td> <td>PB1～8</td> <td>PC1～11</td> <td>PD1～14</td> <td>PE1～8 PF1～4</td> </tr> </table>		発表区分	発表区分	発表区分	発表区分	発表区分	A	B	C	D	E + F	PA1～26	PB1～8	PC1～11	PD1～14	PE1～8 PF1～4
発表区分	発表区分		発表区分	発表区分	発表区分												
A	B		C	D	E + F												
PA1～26	PB1～8		PC1～11	PD1～14	PE1～8 PF1～4												
15:15	【ポスター発表】 第2セッション(15:15～16:15) ※前半 15:15～15:45_発表番号:奇数 後半 15:45～16:15_発表番号:偶数 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>発表区分</td> <td>発表区分</td> <td>発表区分</td> <td>発表区分</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>PA27～52</td> <td>PB9～16</td> <td>PC12～22</td> <td>PD15～27</td> </tr> </table>	発表区分	発表区分	発表区分	発表区分	A	B	C	D	PA27～52	PB9～16	PC12～22	PD15～27				
発表区分	発表区分	発表区分	発表区分														
A	B	C	D														
PA27～52	PB9～16	PC12～22	PD15～27														

○研究発表につきましては、発表の成立条件および注意事項をよくご参照ください。

○お弁当(事前にお申込みされた方のみ)の配布時間は、12:10～13:15 となります。(場所:3階 昼食会場)

○ポスター発表終了後 17:00～18:30の間、情報交換会を行います。

場所:1階 カンティーン 参加費:5,000円(当日)

当日参加も可能です。皆様と有意義な情報交換ができますことを心待ちにしております。

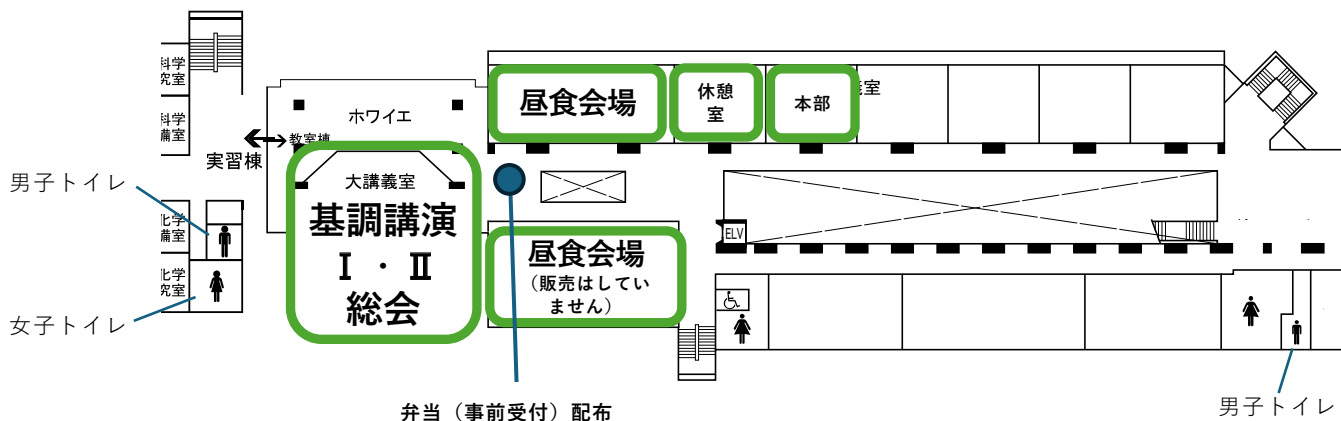
○クロークの利用は 16:30 までとさせていただきます。

情報交換会にご参加の方は、16:30 以降は情報交換会会場の荷物置き場をご利用ください。

貴重品の預け入れはご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

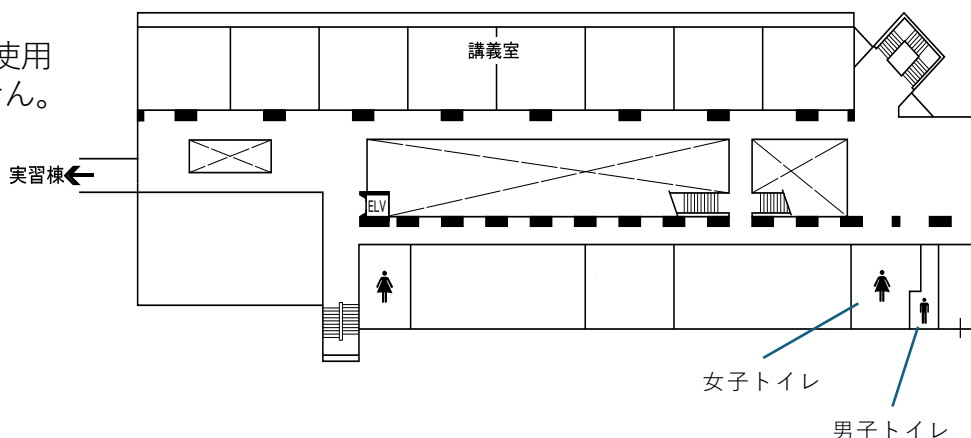
会場案内図

3階：開会式、基調講演 I・II、総会、休憩室、弁当(事前受付)配布



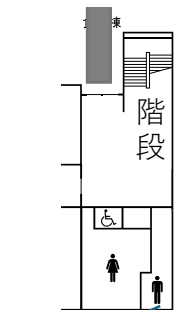
2階

※2階はトイレのみの使用です。会場はありません。

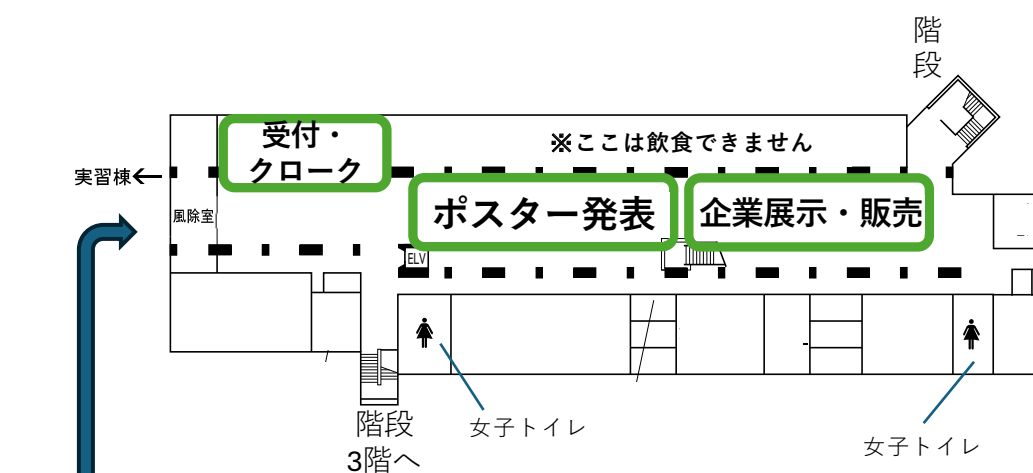


1階：受付・クローク、ポスター発表、企業展示・販売、情報交換会

情報交換会
カンティーン (1階)



実習棟



教室棟

入口
(サブゲート)

※男性用トイレは教室棟2・3階、実習棟をご利用ください

アクセス

最寄駅

大船駅 (JR 東海道線、横須賀線、その他 JR 線、湘南モノレール)

・会場の鎌倉女子大学大船キャンパスは大船駅より徒歩約8分です。大船駅**笠間口**を出て、松竹通りを直進し、イトーヨーカドーを越えたところからです(右図参照)。

以下の QR コードも参考にしてください。

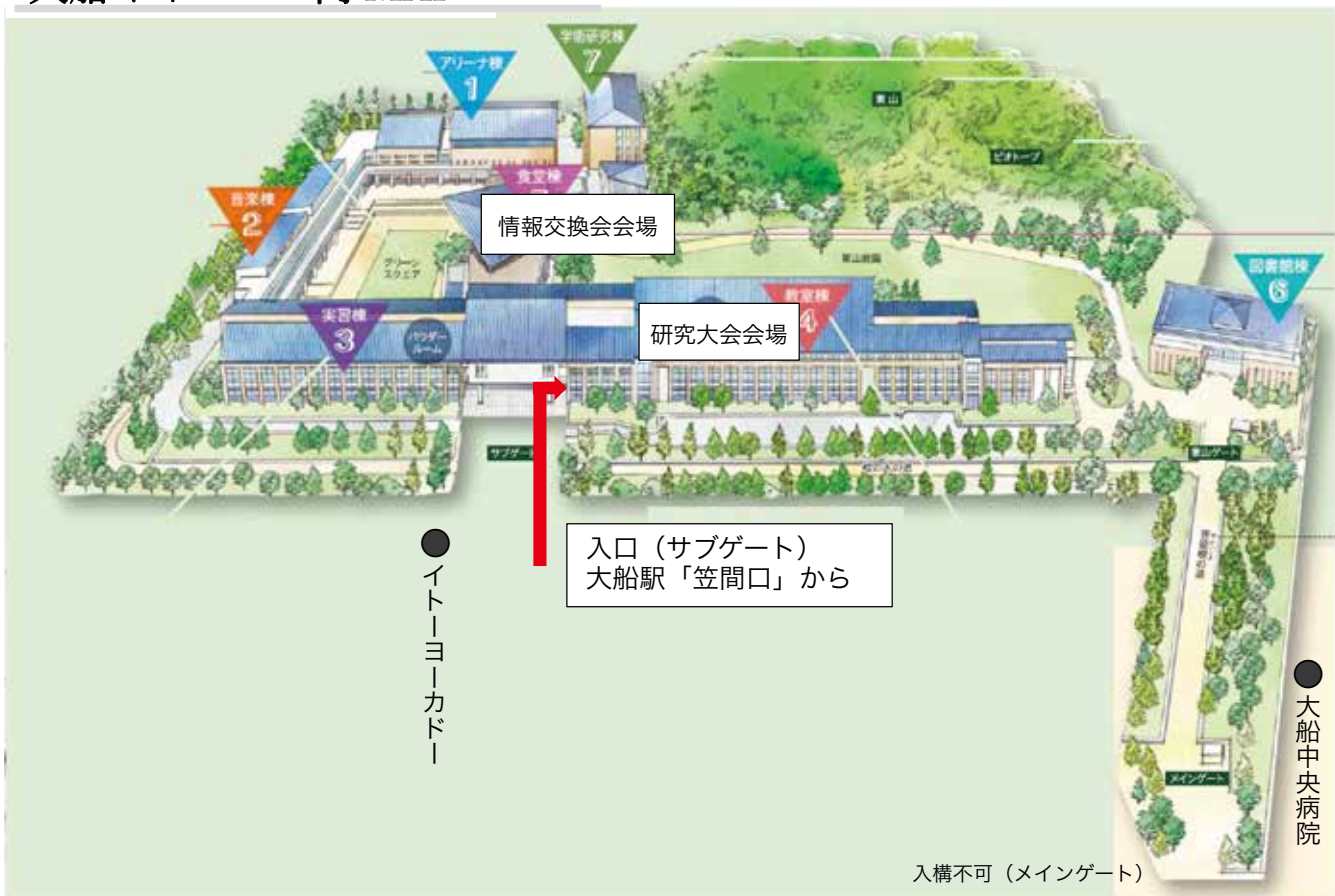


※当日は正門(メインゲート)からの入構はできません。

大船駅からのアクセス



大船キャンパス内 MAP



ポスター発表をされる皆様へ

1) 研究発表の成立条件

- ①ポスター発表は、「ポスターでの発表」「質疑応答への参加」「要旨集への要旨の掲載」の3条件を満たすことで正式発表と認められます。また発表者は「発表説明責任時間」の間、自分のポスター掲示場所に在席していなければならず、なおかつポスターは所定の時間掲示されなければなりません。
 - ②発表者は、指定されたセッションの開始前に分科会会場での受付を済ませ、その会場にて待機してください。
 - ③研究発表の際、筆頭発表者および連名発表者は必ず分科会に出席し、5分前までにポスター前で待機してください。
 - ④筆頭発表者がやむをえない理由で発表ができなくなった場合、事前に大会実行委員会の承認を得ることで、連名発表者（他の発表で筆頭発表者となっていない者）が筆頭発表者となることができます（筆頭発表者の交代）。座長への届け出での取り下げおよび交代は無効です。
- *以上に反することが確認された発表は、『発表取り消し』となる場合があります。

2) ポスター発表の方式について

- ①発表時間：ポスター発表の第1セッション（14:00～15:00）または第2セッション（15:15～16:15）のいずれか指定された時間の60分間はポスターを掲示してください。そのうち前半（奇数番号）または後半（偶数番号）の30分間の「発表説明責任時間」では、座長がそれぞれの発表について質疑等を行いますので、必ずポスター前に在席をしてください。「発表説明責任時間」に不在の場合は『発表取り消し』となりますのでご注意ください。
 - ②発表形式：おおむね縦180cm×横90cmのスペースに、研究題目・発表者・所属が明記された研究の要旨・図・表・写真等からなるポスターを準備し、研究内容の説明と質疑応答等をしながら、自由に討論を深めます。
 - ③第1セッションと第2セッションの入れ替え時間が15分となっています。
- 第1セッションの発表者は、定刻通り発表を終了し、速やかに片付けを行ってください。（15:05迄に終了）また、第2セッションの発表者は15:10には、ポスター前で待機をしてください。
- 第2セッションの発表者は、16:20までに片付けを済ませてください。

各セッションの紹介

基調講演 I

学習者中心の学びへのチャレンジ — 鎌倉市教育大綱からこどもの未来を考える —

鎌倉市教育委員会教育長 高橋洋平氏

講演概要

環境活動家のレイチェル・カーソンの著書「センス・オブ・ワンダー」にこのようなくだりがあります。「子どもたちの世界はいつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激に満ちあふれています。残念なことに私たちの多くは大人になる前に澄み切った洞察力や美しいもの、生き得すべきものへの直感力を鈍らせ、ある時は全く失ってしまいます」。赤ちゃんは何かを口に入れて、モグモグしながら確かめるなど、何かを知ろうというワクワクドキドキに溢れているのに、どういふことか、大人になるに従ってだんだんにその輝きが失われていってしまう。レイチェル・カーソンは妖精にこのワクワクを生涯にわたって持ち続けていたいをお願いします。

鎌倉市教育委員会が策定する教育大綱では、コンセプトを「学習者中心の学び」としています。前提として子どもたちは誰もワクワクを心に持っているという子ども観に立っています。なかなか学びに向かっていけない子どもでも、場や環境次第でワクワクを発揮していきます。そして、子どもたちは一人一人違う、多様性があるということです。これを前提として誰一人取り残されない学び（文部科学省的な言い方だと個別最適で協働的な学び）を目指すというチャレンジを進めています。誰かに教えてもらうということではなく、子どもたち自身が自ら学びをつかみ取っていく姿が生まれてきました。そして、コンセプトを「学習者」としたのは、子どもも大人も学び手という考えに立つためです。保育士の皆さんも学習者そのものですし、子どもたちを元気にするだけではなく、大人たちも元気にしたいという思いです。

講師紹介



高橋洋平（鎌倉市教育委員会教育長）

東北大学教育学部を卒業後、2005年に文部科学省に入省。初等中等教育行政を中心に経験。福島県教育総務課長やカリフォルニア大学バークレー校客員研究員、文部科学省教育改革推進室専門官、私学助成課課長補佐、学校デジタル化プロジェクトチームサブリーダーなどを経て退職。PwC コンサルティング合同会社教育チームマネージャーを経て、2023年8月より現職。東京大学公共政策大学院非常勤講師、一般社団法人 LEAP 理事を兼ねる。

基調講演Ⅱ

養成保育士と試験保育士に寄せる期待

和洋女子大学教授 矢藤 誠慈郎氏

講演概要

保育士資格を取得するには、指定保育士養成施設を(所定の単位を修めて)卒業する(ここでいう養成保育士)、あるいは保育士試験(都道府県が実施する資格試験。国家試験ではない)に合格する(ここでいう試験保育士)という2つのルートがある。それらに資格としての違いは全くない。そして、いずれも概ね高等教育を2年間修めたことが要件となっている(中卒+実務経験5年、高卒+実務経験2年等も可)。

それらはそれぞれの意味を備えて展開してきている。戦後、児童福祉法により保育所が定義され、その職員として保育士(当時は保母だが、以下も保育士とする)が置かれることとなった。当初は保育士養成校が不足していたために、保育士試験による資格取得を可能とし、それが保育士確保に大きな役割を果たしていた。養成校が徐々に整備され、女子の高等教育への進学先として特に短期大学が展開していき、保育士試験の役割が縮小していった。しかし、女性の社会進出により(それ自体は良いことだが)、保育需要が激増し、養成校も特に2000年代辺りの増加は右肩上がりであった。さらに少子化対策としての保育の受け皿整備を急速に進める中で、保育士の需要もさらに増加し、改めて保育士試験が注目されて受検者が増え、また保育士試験受験を促すような施策が特に2010年代以降に推進された。

一方で、保育士の専門職としての資質・能力を定めて、それを確保し、向上させる施策については、量的確保への関心に比べれば優先度が低かったと言わざるを得ないであろう。事故や虐待といった問題が保育士の資質・能力の確保と向上をないがしろにしてきたせいだなどと軽々に論じることはできないが、養成保育士にも試験保育士にもその育成に課題があることに誰しも異論がないだろう。

ここでは「寄せる期待」というよりも、養成保育士における養成校の教育の質の幅をどのように縮め向上させるか、また試験保育士のキャリアにおける特に入職時のレディネスをどのように確保するかといった課題について、養成校として、あるいは養成校教員として何ができるか、またそれを保育・福祉の現場とどのように連携・協働して進めていくかについて、「開かれた学び合い」の観点から希望への問いを立てたい。

講師紹介



矢藤 誠慈郎 (和洋女子大学教授)

専門は保育学・教育学。

養成から現職を見通した保育者の専門性の開発、保育における組織マネジメント・リーダーシップ等。全国保育士養成協議会常務理事等を務める。

著書に『保育の質を高めるチームづくり』(わかば社)等。

ポスター発表 A. 保育者の専門性、資質・能力、保育者養成における今日的課題など

14:00~15:00

座長: 小原 敏郎・目良 秋子

発表ID

PA1	「おはなしのにわ」について - 広岡キミエ氏の『おはなしのにわ』に描かれた教育思想を基に -	関西国際大学	馬場 住子
PA2	パペットを造ることと動かすことに関する一考察 ~パペットセラピーの視点から~	尚綱学院大学	東 義也
PA3	保育内容「人間関係」の授業に『わらべ歌』を用いることの意義 についての考察	洗足こども短期大学	飯村 愛
PA4	保育士養成課程におけるソーシャルワークの視点の導入と現場の実態 - 「受容」と「社会資源との連携」をめぐる保育学生と新任保育者の理解の比較-	関西女子短期大学 大阪樟蔭女子大学	○田邊 実香 奥井 菜穂子
PA5	子どもの権利保障につながる保育者の「子ども尊重行為」の検討 - 予備的調査を手がかりに -	日本社会事業大学 国立市幼児教育センター	○亀崎 美沙子 細田 直哉
PA6	保育者の食物アレルギー対応に関する意思決定要因	愛知学泉大学非常勤講師 愛知学泉大学 愛知学泉短期大学	○田村 佳世 伊藤 久美子 福井 千夏
PA7	ドイツの保育者養成(1) - ベルリンの保育者養成を中心に -	千葉明德短期大学	池谷 潤子
PA8	保育現場における心理的安全性に関する現状に関する研究(2) - 保育者養成教育の検討 -	四條畷学園短期大学 大阪健康福祉短期大学	○金川 朋子 舟越 美幸
PA9	オンライン通信を用いた昆虫の同定手法の検討 - 保育現場と専門家との接続を仮定して -	白梅学園短期大学	浅野 涼太
PA10	医療的ケア児に関する研究	大阪健康福祉短期大学 四條畷学園短期大学 静岡産業大学	○舟越 美幸 金川 朋子 川端 奈津子
PA11	幼稚園教育実習に向けた社会人基礎力育成のための取り組み	中村学園大学 中村学園大学 中村学園大学	○新井 しのぶ 倉原 弘子 野中 千都
PA12	保育現場における民話実践の検討 - 役職経験者へのインタビュー調査より -	ノートルダム清心女子大学 東海学園大学 彰栄保育福祉専門学校 盛岡大学短期大学部幼児教育科	○片平 朋世 木本 有香 野見山 直子 丸山 ちはや
PA13	シンガポールの保育者養成教育における授業とその特徴 - NIEC(National Institute of Early Childhood Development) 視察報告 -	日本体育大学 共立女子大学 京都光華女子大学 頌栄短期大学 神戸海星女子学院大学 神戸常盤大学 富山短期大学 仙台白百合女子大学 共立女子大学	○恒川 丹 井口 武俊 越智 紀子 川島 直子 渡邊 恵梨佳 橋本 好市 宮田 徹 三浦 主博 小原 敏郎

ポスター発表 A. 保育者の専門性、資質・能力、保育者養成における今日的課題など

14:00~15:00

座長: 三浦 主博・幸喜 健

発表ID

PA14	集団保育における個と集団の育ちの両立を志向する保育者の課題と 介入方法の検討	福岡県立大学大学院 福岡県立大学	○原口 直美 伊勢 慎
PA15	幼稚園教育実習における保育イメージの変容 - 保育者効力感と保育職志望への影響 -	田園調布学園大学 田園調布学園大学	○新井 貴子 横尾 暁子
PA16	保育文脈から読み取る熟達保育者の2歳児に対する言葉かけ - 海賊ごっこ場面を中心として -	創価大学 鎌倉女子大学 駿河台大学 創価大学	○戸田 大樹 榊原 久子 館 秀典 舟生 日出男
PA17	保育者の大学院進学プロセス	白梅学園短期大学 フェリシアこども短期大学 立正大学 山梨学院短期大学	○松原 乃理子 織壁 佐和子 加藤 直子 深沢 佐恵香
PA18	保育者養成校における人形劇の学びと課題に関する考察 - 学生のインタビューを通じた検討 -	聖徳大学大学院	金城 久美子

発表ID

PA19	保育現場における自然環境との関わり	白梅学園短期大学 白梅学園短期大学 白梅学園短期大学	○岡本 桃 辻 風花 福島 千香子
PA20	保育者養成に係る社会的マナーの指導について - 実習及び実習指導に関するテキストの分析から -	大阪キリスト教短期大学 大阪キリスト教短期大学	○津村 樹理 西川 友理
PA21	現象学的保育学における子ども = 保育者の身体 - 中田基昭を中心として -	郡山女子大学短期大学部 大阪公立大学	○安部 高太郎 吉田 直哉
PA22	潜在化する夜間保育を必要とする子どもと認可外保育施設の夜間保育状況	関西福祉科学大学	大江 まゆ子
PA23	保育者養成短期大学における入学前教育の在り方の検討	埼玉純真短期大学 埼玉純真短期大学 埼玉純真短期大学 埼玉純真短期大学	○三友 玲子 塚越 亜希子 布施 由起 片口 桂
PA24	保育者養成校におけるピアノ指導の見直しに向けた一考察 - YouTube 音源利用における課題とウクレレ導入の提案 -	白百合女子大学	川口 潤子
PA25	中堅保育教諭の語りを見る園児の在園時間の違いによる実践上の課題	川崎医療福祉大学 岡山大学	○蓮井 和也 片山 美香
PA26	エピソード記述に見られる実習での学び - ケアリングを観点として -	椋山女学園大学	伊藤 博美

ポスター発表 A. 保育者の専門性、資質・能力、保育者養成における今日的課題など

15:15~16:15

座長: 東 義也・甲賀 崇史

発表ID

PA27	保育者養成における人形劇制作の意義に関する一考察	和歌山信愛女子短期大学 和歌山信愛女子短期大学	○小笠原 眞弓 金谷 有希子
PA28	施設実習を経験した保育学生が認識する 保育職の資質・能力	和洋女子大学 中部大学	○権 法珠 蘇 珍伊
PA29	保育をプロパーとしない教員からみる 保育者養成	羽田幼児教育専門学校 群馬医療福祉大学 群馬医療福祉大学 神戸女子短期大学 駒沢女子短期大学 東京純心大学 草苑保育専門学校 名古屋女子大学短期大学部 育英大学	○熊倉 楓 海津 雅彦 田中 浩之 川村 高弘 岡部 祐子 市野 繁子 田中 路 土井 美紗緒 山本 麻美 田中 卓也
PA30	保育者養成課程での学びを通しての社会人基礎力に関する自己分析調査の一考察Ⅱ	東京女子体育短期大学 東京女子体育短期大学 東京女子体育大学	○村石 理恵子 土井 晶子 池和田 克彦
PA31	「ふれ合い体験」の実践報告Ⅶ ~ 2024 年度の結果と今後の受け入れの質的向上を目指した思案 ~	松が丘保育園/日本保育協会神奈川県支部 認定こども園モモ/日本保育協会神奈川県支部 ひよこ第3保育園/日本保育協会神奈川県支部 エンゼル保育園/日本保育協会神奈川県支部 ベル・フラワー保育園/日本保育協会神奈川県支部	○渡邊 高幸 神尾 美香子 清水 淳一郎 奥田 昌喜 小島 栄希
PA32	学生生活の不安解消の支援 - ピア・サポートの試みを通して -	華頂短期大学 華頂短期大学	○鈴木 えり子 柘植 誠子
PA33	保護者対応における現状と課題	宮崎学園短期大学	久松 尚美
PA34	保育者の意見表明と参画 - 先行研究の概観と課題 -	埼玉学園大学 関西学院大学名誉教授	○堀田 正央 日浦 直美
PA35	保育者養成校における学生の冒険教育プログラムの意義について - 歴史的な視点をもとにして -	鎌倉女子大学短期大学部	西島 大祐
PA36	4年制保育学生のキャリア選択に関する実態調査	中村学園大学	黒江 絵里
PA37	外国にルーツのある子どもとその保護者に関する意識調査 - 通信教育課程在学生の事例 -	小田原短期大学	大浦 賢治
PA38	授業「カリキュラム論」 - 一斉活動および保育記録を活用した指導計画案作成を通じた学びと効果 -	鎌倉女子大学短期大学部	上田 陽子
PA39	子どもの姿を可視化する保育記録 - ラーニングディスプレイに注目して -	東北福祉大学	上村 裕樹

ポスター発表 A. 保育者の専門性、資質・能力、保育者養成における今日的課題など

15:15~16:15

座長: 和田 明人・千葉 弘明

発表ID

PA40	保育ピアノ教育と ICT 活用に関する課題と展望 - 音楽表現活動で求められる ICT リテラシーとは -	常磐短期大学 つくば国際短期大学 常磐短期大学	○鈴木 範之 板橋 華子 池羽 由
PA41	保育者養成短大・大学の学生と子どもとで虫に対する興味関心の違い	白梅学園短期大学	青木 鈴佳
PA42	幼稚園実習における運動遊びに関する一考察 - 責任実習の活動設定理由から -	目白大学	西田 希
PA43	地域ボランティア活動で深める子ども理解 - 「乳幼児ふれあい学級」での学び -	九州産業大学	三原 詔子
PA44	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・ 保育要領の変遷にみる子どもの権利の位置付け	十文字学園女子大学	矢野 景子
PA45	多言語環境で育つ子どものいる環境に対する保育者の意識に関する一考察 - インタビュー調査を中心に -	広島大学人間社会科学部 研究科 研究生	王 笑桜
PA46	保育を学ぶ学生の「幼児理解」観 ~ 幼稚園教育実習後の自己評価から ~	神戸常盤大学	山田 秀江
PA47	子どもの運動遊び指導の課題 - 実習生へのアンケート調査から -	大阪成蹊短期大学	範 衍麗
PA48	園の風土とヒヤリハットのかかわりに関する検討	広島大学 広島大学	○伊藤 優 高橋 均
PA49	アトリエリスタ的存在の声を聴く - ライブで子ども・空間・関係性を問う -	つくば国際短期大学	板橋 華子
PA50	保育ネクサスの提案	郡馬医療福祉大学 郡馬医療福祉大学	○海津 雅彦 田中 浩之
PA51	小学校教諭が語る遊びと保育者との思い出から検討する - 保育者の職業的意義 -	日本女子大学大学院	朝倉 香也代
PA52	継続的な正課外活動の意義 - 参加する学生の視点から捉えた成果と課題 -	桜美林大学	染谷 雅広

ポスター発表 B. 保育実践研究、保育実践現場との共同研究など

14:00~15:00

座長: 堀田 正央・小寺 玲音

発表ID

PB1	「歌う」表現活動における幼児の表現の特性と変容過程 - 「わらべうた」遊びに注目して -	川口短期大学	宮澤 多英子
PB2	インクルーシブ保育の実現に向けた、保育と療育の一体的な支援の あり方について - 保育実践より学ぶ -	奈良学園大学 皇學館大学	○間井谷 容代 土谷 長子
PB3	子どもの認識はどのように発展するのか - 保育実践事例の分析をもとに -	尚綱大学短期大学部	増淵 千保美
PB4	幼児主体の保育から学ぶ - 保育者養成課程における準正課活動の意義 -	西南学院大学 西南学院大学大学院 尚綱大学 神戸親和大学	○門田 理世 岩淵 善道 増田 吹子 高橋 一夫
PB5	ハンガリーにおけるわらべうたを用いた保育実践 - ケケレト保育園での実践観察 -	京都光華女子大学	和田 幸子
PB6	「保育者以外の存在」が4歳児の育ちに与える影響 - 子どもと樹木医の関係性の変化に着目して -	あいおい子ども園 北海道文教大学	○梅原 健吾 小林 美花
PB7	保育及び保育者の魅力を伝えるための現場と養成校の連携 - 保育の輝きを広める始点として -	駒沢女子短期大学 フェリシアこども短期大学 あさのみ保育園	○市野 繁子 山下 晶子 長瀬 太
PB8	絵本のことはば - ビートに着目して -	愛知学泉短期大学	本多 峰和

ポスター発表 B. 保育実践研究、保育実践現場との共同研究など

15:15~16:15

座長: 市野 繁子・高橋 一夫

発表ID

PB9	誰でも楽しめるスポーツ「ポッチャ」の魅力と今後の展望 (I) - 保育者及び保育学生の体験活動とボランティア活動を通して -	新潟青陵大学短期大学部	上原 由美
-----	---	-------------	-------

発表ID

PB10	保育の場としての森の可能性と課題 -千葉県による質問紙調査から-	千葉明德短期大学	古賀 琢也
PB11	障害児保育開始期における保育実践	就実大学 就実短期大学	○村田 恵子 三好 年江
PB12	保育者が幼児と共主体的に探究を深めるプロセス	桜花学園大学	上村 晶
PB13	保育場面における「リズムカルな言葉」の実例と分析 -コミュニケーションの志向性に着目して-	こども教育宝仙大学	葛西 健治
PB14	保育実践充実にむけた包括的支援 -企業主導型施設での予備的調査-	元松山東雲女子大学	岡部 祐子
PB15	「楽しく食べる子どもに」を支える保育についての考察 -園内研修を通じた保育者の意識の変化-	関西女子短期大学	小寺 玲音
PB16	乳幼児の絵本読み聞かせにおける一考察 -2歳児クラスの「ぺんぎんたいそう」に着目して-	川口短期大学 大泉保育福祉専門学校	○関根 久美 松原 みゆき

ポスター発表 C. 保育実習・教育実習、実習指導、対人援助職のキャリアデザインなど

14:00~15:00

座長: 矢藤 誠慈郎・中川 智之

発表ID

PC1	保育系学生の地域子育て支援実習を通して	大阪青山大学	鈴木 順子
PC2	ICTを活用した実習日誌に関する実践研究 -保育実習生への支援の一環として-	フェリシアこども短期大学 フェリシアこども短期大学 フェリシアこども短期大学	○中村 麻衣子 舟生 直美 織壁 佐和子
PC3	保育士養成における「実習前評価システム」の開発 -社会福祉士養成のOSCEを活用して-	帯広大谷短期大学	阿部 好恵
PC4	保育実習Ⅱ(保育所)における学生の自己肯定感について	東京経営短期大学 東京経営短期大学 埼玉純真短期大学	○松山 綾子 鈴木 律子 三友 玲子
PC5	戦後復興期の保育実習(広島県立保育専門学校)を読み解く試み -実習記録をもとに-	福山市立大学 倉敷市立短期大学 倉敷市立短期大学 就実短期大学	○大庭 三枝 小久保 圭一郎 木戸 啓子 三好 年江
PC6	実習記録から学生の想いを知る③ -保育実習Ⅲより-	東大阪大学短期大学部	野崎 之暢
PC7	教育実習におけるドキュメンテーション的な記録の試み(2) -保育場面に對する構成内容の分析-	安田女子短期大学 安田女子短期大学	○橋本 信子 中村 涼
PC8	幼稚園実習の日誌の気づきに関する一考察 -時系列からエピソード記録へ-	東京経営短期大学 東京経営短期大学	○鈴木 律子 松山 綾子
PC9	保育実習日誌におけるICT活用の教育的効果と課題 -保育実習生および実習園の実習指導者へのアンケート調査結果の比較を中心に-	安田女子大学 宇部フロンティア大学短期大学部 広島文教大学 松山東雲短期大学 広島文化学園大学 福山平成大学	○西川 ひろ子 伊藤 一統 上村 加奈 岡田 恵 合原 晶子 中原 大介
PC10	保育者養成校における学生の施設実習の取り組みと評価	中部大学 和洋女子大学	○蘇 珍伊 権 滋珠
PC11	幼児の視点を疑似体験するVR教材の検証	中村学園大学 中村学園大学	○山本 翠 新井 しのぶ

ポスター発表 C. 保育実習・教育実習、実習指導、対人援助職のキャリアデザインなど

15:15~16:15

座長: 大庭 三枝・石川 昭義

発表ID

PC12	教育実習における事前学習に生じた課題へのアプローチ	千葉女子専門学校保育科	助川 夏菜
PC13	保育専攻学生が感じる保育実習の困難感に関する検討 -保育者効力感に着目して-	新見公立大学	入江 慶太
PC14	病児・医療的ケア児と関わる保育実習で必要となる医療的知識に関する検討	川崎医療福祉大学子ども医療福祉学科 川崎医療福祉大学子ども医療福祉学科	○中川 智之 森本 寛訓

発表ID

PC15	実習における指導授業の在り方についての検討 -実践現場と共に学び合う実習を目指して-	和洋女子大学	田島 大輔
PC16	学生の保育者の意図への気づき -「保育所実習事前指導」の実践から-	北翔大学短期大学部 北翔大学短期大学部	○角田 裕哉 清水 桂子
PC17	今求められる実習指導の在り方について -教育実習までの取り組みから考える-	華頂短期大学	柘植 誠子
PC18	エピソードの提示方法による印象の違い (4) -短期縦断-	和洋女子大学	大神 優子
PC19	保育を学ぶ学生の「学校支援ボランティア」経験を通じた教育的効果	奈良学園大学 奈良学園大学	○林 悠子 高橋 千香子
PC20	学生は保育士の保育を行う姿から何を学ぶか -保育実習Ⅱの振り返りアンケートの質的分析-	千葉明德短期大学	小木曾 友則
PC21	保育士養成における施設実習Ⅰの意義 -学生のアンケートと実習施設との連携を通してみえてきたこと-	沖縄女子短期大学 沖縄女子短期大学	○平田 美紀 砂川 麻世
PC22	幼稚園教育実習における実習評価票の妥当性の検討 -総合所見の計量的内容分析による探索的検討-	淑徳大学	清水 将之

ポスター発表 D. 授業実践研究など

14:00~15:00

座長: 桜島 香代・小林 由利子

発表ID

PD1	保育内容「表現」の指導法における模擬保育の実践研究 -1年次における模擬保育の実践方法の検討-	豊岡短期大学 別府大学短期大学部 別府大学短期大学部	○仲嶺 まり子 石川 照代 助安 明美
PD2	乳幼児の歌と領域「言葉」との関連 -保育者養成校の学生の意識を通して-	鎌倉女子大学短期大学部 横浜創英大学	○関川 満美 田中 君枝
PD3	児童文化財を活用した卒業研究Ⅱ -影絵シアターの制作・実践を通して-	修文大学短期大学部	吉澤 幸
PD4	保育者養成教育における音声の文字化機能活用による教育効果測定と 授業プラン開発に関する研究	柴田学園大学短期大学部	高橋 直樹
PD5	領域「環境」:自然物を利用した手作業が与える感覚への刺激に関する研究 -「自然遊びと生活環境保全Ⅱ」帚づくり体験前後の渦巻なぞり実験の結果から-	フェリシアこども短期大学	舟生 直美
PD6	「子どもとともに育つ保育者」を育てるカンファレンスの試み(1) -授業後のアンケートにみる個とグループの学び-	国際学院埼玉短期大学 名古屋女子大学 元聖セシリア女子短期大学	○桐原 由美 榎原 剛 仲 明子
PD7	保育者を目指す学生の運動遊びの指導における心配について(2) -2年間の学びから-	名古屋柳城短期大学	菊池 理恵
PD8	障害理解を促す教材作成および実践の効果について -将来的行動の予測に関する質問紙を用いた検討-	豊橋創造大学短期大学部	熊谷 享子
PD9	反転授業としての保育者養成「音楽」における「[子どもの歌]ワークブック」 による実践事例の分析 -学習環境の観点から-	東海学院大学 東海学園大学 広島文化学園大学	○小栗 祐子 横山 真理 永井 美由紀
PD10	保育者養成校におけるプロジェクト型ボランティア学習の効果Ⅰ -学生の量的データに基づく分析-	鎌倉女子大学短期大学部 鎌倉女子大学短期大学部 鎌倉女子大学短期大学部 鎌倉女子大学	○金子 智昭 細野 美幸 小泉 裕子 松田 広則
PD11	保育者養成校におけるプロジェクト型ボランティア学習の効果Ⅱ -学生の質的データに基づく分析-	鎌倉女子大学短期大学部 鎌倉女子大学短期大学部 鎌倉女子大学短期大学部 鎌倉女子大学	○細野 美幸 金子 智昭 小泉 裕子 松田 広則
PD12	絵本を題材とした環境指導法の授業開発	北翔大学短期大学部	菊地 達夫
PD13	保育学生は身近な植物を通して何を学ぶか	椋山女学園大学 敬道学園専門学校日本デザイナー芸術学院	○朴 信永 館井 絵倫子
PD14	保育技術を高めるための一年間の取り組み① -保育内容指導法 表現(音楽)の事例検討-	園田学園女子大学 園田学園女子大学 園田学園女子大学	○中野 圭子 黒木 晶 田窪 玲子

ポスター発表 D. 授業実践研究など

15:15~16:15

座長: 門田 理世・小久保 圭一郎

発表ID

PD15	「子どもの食と栄養」授業における根拠に基づく思考を促す教材の考案	相愛大学	進藤 容子
PD16	保育者養成校における子どもの歌の研究(3) -日本語の響きとともに-	愛知学泉短期大学 愛知学泉短期大学	○谷田 育代 本多 峰和
PD17	身体感覚を育てる演習のあり方 -豊かなイメージをもち表現するために-	文京学院大学 文京学院大学	○梶島 香代 渡辺 行野
PD18	保育者養成課程における「音楽表現」に関する研究 -「音環境」への気づきを促す授業を中心に-	相愛大学	曲田 映世
PD19	「地震ごっこ」事例課題に対する学生の子どもの理解と援助	安田女子短期大学 安田女子短期大学	○中村 涼 橋本 信子
PD20	「遊び・ドラマ・演劇醸造型集合体」に基づく保育者養成プログラムの開発	明治学院大学	小林 由利子
PD21	養成校における遊びなおし② -豊かな素材・用具 経験を促す 授業実践-	常磐短期大学	木村 由希
PD22	教員養成課程学生の幼児の言語力理解について -幼児が言語文化に触れるための教材製作の工夫-	聖心女子大学他非常勤講師	細田 成子
PD23	遊びを通じた学びの理解を目指して -「保育内容総論」の授業展開から-	北翔大学短期大学部	清水 桂子
PD24	実習体験前に行う「保育内容の指導法」の課題 -保育内容(人間関係)から考える-	浦和大学	大村 あかね
PD25	保育における環境構成について	東京経営短期大学こども教育学科	井村 礼恵
PD26	令和6年度『トキガクフェスタ』の実践報告(2) ~舞台発表での地域貢献の在り方~	常磐会学園大学 常磐会学園大学 常磐会学園大学	○笠川 武史 丸井 理恵 加藤 達雄
PD27	屋内外の環境が運動遊びに与える影響 -環境から遊び特性の良さを考える-	常葉大学	富田 エミ

ポスター発表 E. 子育て支援、地域連、高大連携など
F. 保育者研修、キャリアアップなど

14:00~15:00

座長: 小川 清美・西島 大祐

発表ID

PE1	地域の子育て支援活動の充実に向けて -地域子育て支援拠点等における子育て支援者の現状と課題-	和歌山信愛大学 和歌山信愛大学	○前島 美保 森下 順子
PE2	母子分離イベントにおける親子の期待と学生の学び	姫路大学	藤重 育子
PE3	保育者養成を行う大学における子育て支援活動について -大学主体型ひろばに焦点をあてて-	梅花女子大学 梅花女子大学 梅花女子大学 梅花女子大学 梅花女子大学 梅花女子大学	○寺本 尚美 井元 真澄 鎮 朋子 藤井 奈津子 大西 隆弘 花房 ナオミ
PE4	過疎地域における多職種連携を通じた子育て支援 -和歌山県内の自治体の事例を通して-	和歌山信愛大学 奈良教育大学	○森下 順子 厨子 健一
PE5	令和6年能登半島地震における被災地特有の保育活動とそのあり方に関する考察	育英大学	田中 卓也
PE6	子どもを取り巻く環境の変化とそれに伴う遊びの変化	白梅学園短期大学 白梅学園短期大学 白梅学園短期大学	○辻 風花 福島 千香子 岡本 桃
PE7	地域連携先(障害福祉施設)との交流体験による学生の変化 -保育実習の前段階として障害者を大学に招く-	星槎道都大学	吉江 幸子
PE8	子育て広場における親子リトミック活動に関する研究 -アンケートからみる参加者のニーズと今後の課題-	小田原短期大学	萩原 恵里
PF1	要支援児への対応に着目した保育士等キャリアアップ研修の効果検討	静岡産業大学	川端 奈津子
PF2	新卒保育者の研修は有効に機能しているのか -SCATによる分析-	焼津市立小川保育園 静岡県立大学短期大学部	○望月 若菜 甲賀 崇史
PF3	子どもの姿に基づく保育をどのように継承するか ~ある園の試みをもとに~	山口大学	中島 寿子
PF4	若手保育従事者のキャリア意識 -プライベートより仕事を重視・Z世代の特徴-	白梅学園大学	庭野 晃子

諸 規 程

大会研究発表に関する規程

(本規程の目的)

第1条 本規程は、日本保育者養成教育学会の大会において会員が研究発表を適正に行い、正式発表と認定されるための条件および規則を定める。

(発表申し込みとその受理)

第2条 大会での発表を申し込む者は、正会員であり、かつ所定の期日までにその年度の年会費を納入済でなければならない。ただし、本学会との学術交流協定に基づき発表する者はその限りではない。

2 大会で発表する者は、以下の条件を満たさなければならない。

- (1) 大会で発表する者は、筆頭・連名を問わず、大会実行委員会が指定する期日までに発表申し込みをしなければならない。
- (2) 大会で発表する者は、筆頭・連名を問わず、大会参加費を大会実行委員会が指定する期日までに納入しなければならない。
- (3) 筆頭発表者は大会実行委員会が指定する期日までに要旨集の原稿を提出しなければならない。
- (4) 上記の条件が満たされない場合は、発表申し込みは受理されない。また、受理が取り消される。
- (5) なお、特別に配慮すべき事情があると会長が認める場合は、事前に大会実行委員会に申し出て、その許可を得ることにより、期日後に納入することができる。

(発表研究の条件)

第3条 発表研究は、大会での発表時において未発表であるものに限る。すでに印刷製本して公表された研究(単行本、学会誌、紀要[大学、研究会、園等]、雑誌等に発表されたもの)は、当学会において発表することはできない。

(発表に関する制約)

第4条 筆頭発表は、口頭発表・ポスター発表のいずれかで1人1件に限る。ただし、連名発表者となる場合は、筆頭発表を含めて口頭発表・ポスター発表を合わせて3件まで認められる。同一研究グループ内で発表者を分散させるなどして、複数の発表をする場合も、実質上同一研究グループによる研究である限り、3件を超える発表はできない。

2 同一の内容と認められる発表については、2件まで認められる。

(発表の成立条件)

第5条 ポスター発表は、「ポスターでの発表」「質疑応答への参加」「要旨集への要旨の掲載」の全ての条件を満たすことで正式発表と認められる。また、発表者は「発表説明責任時間」の間、自分のポスター掲示場所に在席していなければならない。かつ、ポスターは所定の時間掲示されなければならない。

- 2 口頭発表は、「口頭での発表」「討論への参加」「要旨集への要旨の掲載」の全ての条件を満たすことで正式発表と認められる。また、発表者は分科会終了前に退席することはできない。
- 3 発表者は、分科会開始前に分科会会場での受付を済ませ、その会場にて待機しなければならない。
- 4 研究発表の際、筆頭発表者は必ず分科会に出席しなければならない。
- 5 研究発表の際、原則として連名発表者全員が分科会に出席しなければならない。
- 6 筆頭発表者がやむをえない理由で発表ができなくなった場合、事前に大会実行委員会の承認を得ることで、連名発表者（他の発表で筆頭発表者となっていない者）が筆頭発表者となることができる（筆頭発表者の交代）。

（研究発表の認定と取り消し）

- 第6条 すべての研究発表の終了後、会長の推薦を経て理事会の承認を得た若干名の委員で構成された研究発表認定委員会が、すべての発表について前条の規定を遵守しているか否かを確認する。その結果、前条の規定を遵守していると認められた発表のみ、正式発表と認定する。前条の規定に反することが確認された発表は「発表取り消し」とされる。
- 2 筆頭発表者が無断で欠席した場合は「発表取り消し」とされる。事前に欠席を届け出た場合は「発表取り下げ」となる。
 - 3 「発表取り消し」と「発表取り下げ」については、公示するとともに、当該者に対して通知することとする。

（改廃）

第7条 本規程の改廃は理事会が行う。

◇付 則

本規程は、平成30年12月1日から施行する。

大会における座長および分科会運営に関する規程

(本規程の目的)

第1条 本規程は、日本保育者養成教育学会の大会における分科会の座長を選出する方法および分科会運営の仕方について定める。

(座長の選出と依頼)

第2条 各分科会には、適宜、若干名の座長をおく。

- 2 座長は、原則として本学会会員で、大学等における教授または准教授職相当の会員を当てる。
- 3 座長候補者は、大会実行委員会が選出し、日本保育者養成教育学会会長が文書をもって依頼する。

(ポスター発表分科会の運営)

第3条 座長および大会実行委員会はポスター発表分科会の運営に関わる次の業務を行う。

(1) 座長の業務

- ①座長は、発表者の発表の仕方に不適切な点がある場合は、適宜注意をし、ルールにかなった発表が行われるように努める。
- ②参加者からの質問が少ない場合には、座長は適宜発表者に質問するなどして、参加者同士の質疑応答が活発になるように配慮する。
- ③座長は、発表者および参加者に礼節を欠く言動や分科会の運営を妨げる言動が見られるときには適宜注意し、分科会が研究交流の場として相応しいものとなるように努める。
- ④座長は、発表が大会研究発表に関する諸規程にかなっているかを確認し、分科会終了後に研究発表認定審査会に報告する。

(2) 大会実行委員会の業務

- ①大会実行委員会は、発表者の出席を確認し、その結果を座長に報告する。
- ②大会実行委員会は、発表の仕方についてルール違反がないか監督し、結果を座長に報告する。

(口頭発表分科会の運営)

第4条 座長および大会実行委員会は口頭発表分科会の運営に関わる次の業務を行う。

(1) 座長の業務

- ①座長は、分科会開始前に、分科会の運営の仕方および発表の成立条件について発表者および参加者に説明する。
- ②座長はプログラムに従い、分科会の司会進行を行い、発表者に不平等が生じないように努める。
- ③発表者の欠席および発表の取り下げがある場合も、座長はプログラムに明記された時間通りに分科会を運営する。
- ④座長は、発表者の発表の仕方に不適切な点がある場合は、適宜注意をし、ルールにかなった

発表が行われるように努める。

- ⑤参加者からの質問が少ない場合には、座長は適宜質問をするなどして、議論が深まるように配慮する。
- ⑥座長は、発表者および参加者に礼節を欠く言動や分科会の運営を妨げる言動が見られるときには適宜注意し、分科会が研究交流の場として相応しいものとなるように努める。
- ⑦座長は、発表が大会研究発表に関する規程にかなっているかを確認し、分科会終了後に研究発表認定審査会に報告する。

(2) 大会実行委員会の業務

- ①大会実行委員会は、発表者の出席を確認し、その結果を座長に報告する。
- ②大会実行委員会は、発表時間を管理するなど、座長の司会進行をサポートする。

(改廃)

第5条 本規程の改廃は理事会が行う。

附 則 本規程は、平成30年12月1日から施行する。

日本保育者養成教育学会 第9回研究大会
広告掲載・出展のご芳名

株式会社北大路書房	様
株式会社萌文書林	様
全国社会福祉協議会出版部	様
株式会社建帛社	様
中央法規出版株式会社	様
教育情報出版	様
omusubi.fac	様

学会を開催するにあたり、多大なご支援をいただきました。
心より感謝申し上げます。

2025年3月

日本保育者養成教育学会
会長 石川 昭義

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

https://www.kitaohji.com(価格税込)

「愛と知の循環」としての保育実践^{〔仮題〕}

—多様で豊かな世界と出会い、学び、育つ— 無藤隆、古賀松香、岸野麻衣編著 予価2420円 無藤隆氏が集大成として導き出した「愛と知の循環」という幼児教育論。理論の背後には、これまで無藤氏が行ってきた膨大な観察と子ども・保育者との対話がある。現場との対話を通して紡ぎ、編まれてきた理論に基づく実践とは。9つの園の事例を通して描き出す。

子どもの声からはじまる 保育アセスメント

—大人の「ものさし」を疑う— 松井剛太、松本博雄編著 A5・228頁・定価2860円 近年、幼児教育では外的に読み取りやすいアセスメント（ものさし）が求められているが、固定化された「ものさし」によって見失うモノがあるのではないかと。子どもの声に耳を傾け、対話し揺らぎながら、大人の「ものさし」を疑い、新たなアセスメントのカタチを探る。

主体としての子どもが育つ 保育内容「人間関係」

無藤 隆監修 古賀松香編著 B5・248頁・定価2420円 「保育者が子どもの主体性を育む」のではなく、「子どもが主体として育つ」ことを支える保育実践のあり方とは？ 良質で豊富な事例を通して「主体としての子ども」の育ちに迫る。これからの時代を主体的に子どもとともに生きる保育者のための新テキスト。

子どもをあらわすということ

青山 誠、三谷大紀、川田 学、汐見稔幸編著 四六・272頁・定価2530円 なぜ、子どもをあらわさずにはいられないのか——子どもに耳を傾け、記述し、写真に撮るなど、共に過ごした記録として、様々な方法であらわそうと試みる。そこには何があらわれるのだろうか。何のためにあらわすのだろうか。保育という営みのなかで子どもをあらわすことの意味を探る。

大豆生田啓友対談集 保育から世界が変わる

大豆生田啓友著 木村明子聞き手 A5・240頁・定価2200円 【対談者】渡邊英則、無藤隆、苦野一徳、山口慎太郎、明和政子、村上靖彦、荒牧重人、秋田喜代美 子どもたちの未来のために、保育・幼児教育の枠を越えて、多様な領域の研究者たちと「子どもをまんなかに置いて」語り合う。

主体としての子どもが育つ 保育内容「健康」

無藤 隆監修 松壽洋子編著 B5・232頁・定価2420円 主体としての子どもの育ちを支える保育を探究するシリーズ。現代社会の健康観、子どもの発育発達、安全管理・教育、生活習慣などを取り上げ、多様な事例をまじえて専門的事項と指導法を一体的かつ実践的に学ぶ。

絵本で実践！ アニマシオン

—子どもの力を引き出す26のプログラム— 木村美幸著 A5・176頁・定価2420円 読書を通して、対話する力、自ら考える力、自分を表現する力など、子どもの様々な力を引き出す「アニマシオン」という読書指導法。本書では乳幼児期を対象に著者が数多くの現場で実践を積み重ねてきた「絵本」を用いたアニマシオンについて、わかりやすく具体的に解説する。

子どもの遊びを考える

—「いいこと思いついた！」から見えてくること— 佐伯 胖編著 四六・248頁・定価2640円 「遊び=自発的な活動」というのは本当か？！ 「いいこと思いついた！」という現象を切り口に、「中動態」や「天然知能」などの概念を参照しながら、子どもの「遊び」の本質に迫る。

持続可能な社会をめざす0歳からの保育

井上美智子、登美丘西こども園著 定価2420円

デジタル社会の子どもを育ちを支える 保育内容 健康

田口喜久恵編著 定価2640円

発達心理学15講

高橋一公、中川佳子編著 定価2420円

北欧スウェーデン発 科学する心を育てるアウトドア活動事例集

C. プレイジ著/西浦和樹編訳 定価2420円

社会情動的スキルを育む「保育内容 人間関係」

無藤 隆、古賀松香編著 定価2530円

「気になる」子どもの社会性発達の理解と支援

本郷一夫編著 定価1980円

子どもの育ちをとらえるラーニング・ストーリー

穴戸良子、三好伸子著 定価2420円

はじめて学ぶ保育原理^{〔新版〕}

吉見昌弘、斎藤 裕編著 定価2420円

行列のできる児童相談所

井上 景著 定価2530円

2025 新刊・近刊案内

*テキスト採用の見本をご希望の場合は、弊社HPのお申込みフォーム、またはE-mail、FAXにてお申込みください。
*掲載している内容の一部は、予定で、変更になる場合があります。

1冊でわかる教育実習・保育実習

野津直樹・山本陽子 編著 B5判 170頁 定価2,090円(税込)
978-4-89347-445-2

知識を広げ、保育実践に活かす 表現(造形)

吉田 取 著 B5判 オールカラー 148頁 定価2,200円(税込)
978-4-89347-439-1

保育者・教育者になる人のための 特別支援教育 ―当事者の声を聴く―

小林芳文 監修・著 武藤篤訓 著者代表 B5判 276頁
定価2,200円(税込) 978-4-89347-435-3

保育内容「言葉」と指導法 ―子どもの心のことばに耳を澄ませて

仲本美央・吉永安里 編著 B5判 310頁 定価2,200円(税込)
978-4-89347-442-1

保育を綴る ―対話型マップ記録の提案―

お茶の水女子大学附属幼稚園 著 B5変型判 オールカラー 128頁
定価2,640円(税込) 978-4-89347-451-3

幼児教育の原理

請川滋大 編著 加藤直子・徳田多佳子・松原乃理子 著
B5判 212頁 定価2,310円(税込) 978-4-89347-378-3

レジヨ・インスピレーション ―驚きと発見、対話と思索の教育のために―

太田素子・小玉亮子 編著 B5判 カラー口絵付 224頁
定価2,860円(税込) 978-4-89347-428-5

図解で学ぶ保育 子ども家庭支援論

杉山宗尚 編著 A5判 160頁 予価2,310円(税込)
978-4-89347-448-3

近刊

図解で学ぶ保育 レポート・卒論

井戸ゆかり 編著 A5判 160頁 予価2,310円(税込)
978-4-89347-449-0

動画で学ぶ 子どもとともにひらく音楽遊び

馬立明美・小澤和恵・鈴木泰子・園川 緑 共著 B5判 208頁
予価2,200円(税込) 978-4-89347-436-0

近刊

近刊

2025 改訂新版

- ★ 演習保育内容「健康」〈第3版〉―大人から子どもへつなぐ健康の視点
井狩芳子 著 A5判 定価2,090円(税込)
- ★ 子ども家庭支援論〈第2版〉
―保育の専門性を子育て家庭の支援に生かす―
守巧 編著 佐藤 恵・齊藤 崇・齊藤勇紀・松井剛太 著 B5判 定価2,090円(税込)
- ★ 実践に生かす障害児保育・特別支援教育〈第2版〉
前田泰弘 編著 立元 真・中井 靖・小笠原明子 著 B5判 定価2,200円(税込)
- ★ 図解で学ぶ保育 子ども家庭福祉〈第2版〉
直島正樹・河野清志 編著 A5判 定価2,310円(税込)
- ★ 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型
認定こども園教育・保育要領の成立と変遷
―こどもまんなか社会の実現に向けて―
民秋 言 編者代表 西村重稀ほか 編 A5判 定価1,540円(税込)

- ★ 子育て・子育てを支援する 子どもの食と栄養〈第12版〉
堤ちはる・土井正子 編著 B5判 定価2,640円(税込)
- ★ 子どもが共に育つための障害児保育〈第2版〉 近刊
―障害についての深い学びから子どもの支援に生かす―
齊藤勇紀・守巧 編著 山田謙一 医療監修・著 B5判 予価2,200円(税込)
- ★ 障害児保育 子どもとともに成長する保育者を指して〈第4版〉
藤永 保 監修 阿部五月ほか 著 A5判 定価2,090円(税込)
- ★ 保育の英会話〈第3版〉
赤松直子・久富陽子 著 B5判 定価1,540円(税込)
- ★ 幼稚園・保育所・施設 実習ワーク(認定こども園対応 改訂版)
小林育子・長島和代・権藤真織・小櫃智子 著 B5判 定価1,760円(税込)

好評既刊

カラー5領域

新訂
事例で学ぶ
保育内容

各巻 定価2,200円(税込)

〈領域〉健康 無藤 隆 監修/倉持清美 編者代表
〈領域〉人間関係 無藤 隆 監修/岩立京子 編者代表
〈領域〉環境 無藤 隆 監修/福元真由美 編者代表
〈領域〉言葉 無藤 隆 監修/宮里咲美 編者代表
〈領域〉表現 無藤 隆 監修/浜口順子 編者代表



*書籍詳細は、左のQRコードから
弊社HPでご覧ください。
<https://houbun.com>



株式会社 萌文書林

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-15-11 TEL 03-3943-0576 FAX 03-0943-0567 E-mail: info@houbun.com

令和4年6月に成立した
改正児童福祉法(令和6年4月施行)に対応!

最新 保育士養成講座 全10巻シリーズ

第②・③・④・⑦巻 改訂版を刊行!

『最新 保育士養成講座』総括編集委員会 編 | B5判 | 定価2,090円~2,200円(税込) ※巻により異なる

最新 保育士養成講座 全 10 巻

- 第1巻 保育原理
- 改訂 第2巻 教育原理(改訂1版)
- 改訂 第3巻 子ども家庭福祉(改訂2版)
- 改訂 第4巻 社会福祉(改訂2版)
- 第5巻 社会的養護と障害児保育(改訂1版)
- 第6巻 子どもの発達理解と援助(改訂1版)
- 改訂 第7巻 子どもの健康と安全(改訂1版)
- 第8巻 子どもの食と栄養
- 第9巻 保育専門職と保育実践
- 2025年改訂予定 第10巻 子ども家庭支援

保育の現場の皆様に!

- ▶子ども・子育て世帯をめぐる施策の動向を理解するために
- ▶知識のアップデートやキャリアアップ研修のテキストとして!



詳しくはこちら↓



保育の現場でのリアルな実践を学べる月刊誌!

保育の友

- 毎月8日発行
- B5判・76頁
- 定価 740円(税込)

内容を一部
試し読み
できます!



定期購読受付中!



特集

今知りたい! 保育の最新テーマを
掘り下げてわかりやすく伝えます。

2025年の特集テーマ



- 1月号 これからの保育を考える~少子化の将来像~
- 2月号 保育と復興~被災後にどう保育を再開するか~
- 3月号 未満児の発達を支える保育空間づくり
- 4月号 子どもの声を聴こう
- 5月号 思いっきりからだを動かそう
- 6月号 保育を支えるさまざまな人たち

※特集テーマは、今後の編集過程により変更となる場合があります。

好評連載中

- のびのび、いきいき、私の園
保育者にとって働きやすい職場とは? どの園でも、みんなで手軽にすぐできるちょっとしたコツを社会保険労務士の菊地加奈子氏が紹介!
- 作業療法士と考える
すくすく発達遊び
からだや手先の動きの発達が気になる子どもが増えていませんか? 酒井康年氏の作業療法士としての視点から、動きを支援するあそびや運動をイラストとともに紹介。

2024年1月号「プレーキ機能をグレードアップする」より

私たちの指導計画

全国各地の指導講師とグループが関わった、ていねいで見やすい「指導計画」が毎月掲載中。毎月・毎年の指導計画作りで悩む保育者の皆さんに役立つヒントが満載です。

●お申込みは、書店、都道府県・指定都市社会福祉協議会または下記へ●

■ 全社協出版部受注センター ■

受注
専用

TEL. 049-257-1080 FAX. 049-257-3111
E-mail: zenshakyo-s@shakyo.or.jp

全社協



全国社会福祉協議会 出版部

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

福祉関係図書の検索・注文ができるホームページ

福祉の本出版目録

検索

▶▶ <https://www.fukushinohon.gr.jp>

新刊・関連図書のご案内

共生を考える

小山 望・江島尚俊 編著

A 5判/184頁 定価 2,420円

●共生社会の実現に向けて、保育・教育、心理、福祉の研究者が様々な視点から「共生」を論じる。

根付く・伸びる・発展する こどもの遊び

—主体性をはぐくむ保育の手法とICTの活用

宮城教育大学附属幼稚園 編

B 5判/112頁 予価 2,200円

●保育の場での実践書として、5領域やカリキュラムを学ぶ科目の副読本として活用できる一冊。

教職ライブラリシリーズ

生徒指導・進路指導論

住本克彦 編著

B 5判/152頁 予価 2,530円

特別の支援を必要とする子どもの理解

細淵富夫・伊勢正明・大江啓賢 編著

A 5判/192頁 定価 2,200円

教職入門

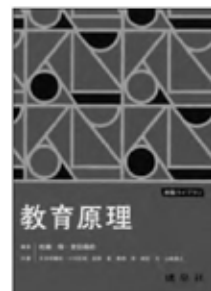
住本克彦 編著

B 5判/144頁 定価 2,420円

教育原理

佐藤 環・菱田隆昭 編著

B 5判/160頁 定価 2,530円



▶▶▶▶ 新刊・改訂版教科書 ◀◀◀◀

はじめて学ぶ 子どもの福祉

和田上貴昭・野島正剛 編著

A 5判/192頁 予価 2,310円

はじめて学ぶ 子どもの養護

和田上貴昭・坪井 真 編著

A 5判/208頁 予価 2,310円

シードブック 新版 子ども家庭福祉〔第2版〕

山田勝美・良 香織 編著

A 5判/224頁 定価 2,530円

ICT×保育を考える 保育内容総論

香曾我部琢・駒久美子・島田由紀子 編著

B 5判/136頁 定価 2,090円



なぜからはじめるカリキュラム論

中原朋生・池田隆英・楠本恭之 編著

B 5判/176頁 定価 2,310円



コンパス 保育の心理学

寺見陽子 編著

B 5判/168頁 定価 2,310円



コンパス 身体表現

岡澤哲子・遠藤 晶 編著

B 5判/136頁 定価 2,200円

付録動画多数掲載!!

サンプル動画



 **建帛社**
KENPAKUSHA

〒112-0011 東京都文京区千石 4-2-15
TEL 03 (3944) 2611 FAX 03 (3946) 4377
<https://www.kenpakusha.co.jp/>

価格(税10%込)
予価・頁数は変更する
場合がございます。

事例と演習でよくわかる 保育内容「環境」

駒井美智子、横山文樹＝編著

定価 2,200円(税込) B5判・222頁
2021年2月発行 ISBN978-4-8058-8277-1



保育士養成および幼稚園教諭養成におけるカリキュラム「保育内容「環境」」対応のテキスト。物的環境に留まらず、保育者や保護者、地域などの人的環境、そこで発生する事象を含め、環境をより広義にとらえ、学生に「新しい保育観」を伝える一冊。演習も豊富に収録。

子どもの活動が 広がる・深まる 保育内容「表現」

吉永早苗＝編著

定価 2,200円(税込) B5判・180頁
2022年12月発行 ISBN978-4-8058-8793-6

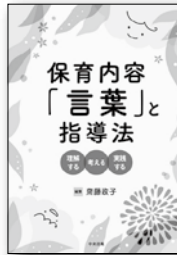


保育士養成および幼稚園教諭養成カリキュラム「保育内容「表現」」対応のテキスト。身体・造形・音楽を1つの表現として捉え解説。ワークで使える動画を収録し、視覚的に理解できる。コアカリキュラム「領域に関する専門的事項」と「領域及び保育内容の指導法」に対応。

保育内容 「言葉」と指導法 理解する・考える・実践する

齋藤政子＝編集

定価 2,420円(税込) B5判・208頁
2023年3月発行 ISBN978-4-8058-8813-1



保育士養成および幼稚園教諭養成課程における「保育内容「言葉」」「幼児と言葉」対応のテキスト。理論編で言葉と心の発達、環境のあり方を学び、演習編で事例やワークを通じて学びを深める。実践編では様々な児童文化財を用いた具体的支援方法と指導計画の作り方を理解する。

保育内容 「人間関係」と指導法 考える・調べる・学び合う

近喰晴子、小泉裕子＝編著

定価 2,420円(税込) B5判・228頁
2023年9月発行 ISBN978-4-8058-8944-2



保育士養成および幼稚園教諭養成課程における「保育内容演習(人間関係)」「保育内容「人間関係」と指導法」のテキスト。事例・演習を豊富に収録し、学んだ知識をどう保育実践で活かすかがイメージできる。予習・復習など、学生の学びやすさにも配慮した構成。

保育内容 「健康」と指導法 考える・広がる・つながる

近喰晴子、茗井香保里＝編著

定価 2,420円(税込) B5判・約200頁
2025年3月発行 ISBN978-4-8243-0200-7



保育士養成および幼稚園教諭養成課程における「保育内容演習(健康)」「保育内容「健康」と指導法」のテキスト。事例・演習を豊富に収録し、学んだ知識をどう保育実践で活かすかがイメージできる。予習・復習など、学生の学びやすさにも配慮した構成。

こどもまんなか福祉論 保育士養成課程 「子ども家庭福祉」テキスト

新沼英明＝編著

定価 2,420円(税込) B5判・224頁
2024年9月発行 ISBN978-4-8243-0018-8



保育士養成課程の科目「子ども家庭福祉」のテキスト。2023年に創設されたこども家庭庁が打ち出したスローガン「こどもまんなか」に対応する形で、子どもの権利の尊重、子どもの福祉(幸せ)の実現に向けて編集。保育者が学ぶべき理念や知識、実践が学べる。

事例で楽しく学ぶ 子ども家庭支援の 心理学

芝野松次郎＝編集代表／新川泰弘、榎本祐子＝編集

定価 2,200円(税込) B5判・198頁
2023年9月発行 ISBN978-4-8058-8843-8

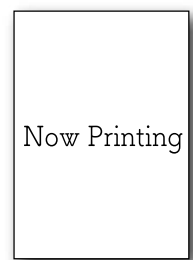


保育士養成施設における「子ども家庭支援の心理学」のテキスト。各章の導入に身近な事例を用いており、学生が自分事として学ぶことができる。また、章ごとに予習・復習用のワークを用意し、教えやすさにも配慮。基礎をしっかりと押さえつつ、深く学ぶ楽しさを経験できる一冊。

事例で楽しく学ぶ 子ども家庭福祉

芝野松次郎＝編集代表／新川泰弘、榎本祐子＝編集

定価 2,200円(税込) B5判・約200頁
2025年8月発行予定 ISBN978-4-8243-0204-5



保育士養成課程における「子ども家庭福祉」のテキスト。各章の導入に身近な事例を用いており、学生が制度や施策について、自分事として学ぶことができる。また、章ごとに予習・復習用のワークを用意し、教えやすさにも配慮。基礎をしっかりと押さえつつ、深く学ぶ楽しさを経験できる一冊。

◆ 保育士養成・幼稚園教諭養成テキスト ◆

●定価各2,420円(税込) ●B5判・各約200頁 ●2025年2・3月発行

◆教育課程論 神長美津子、津金美智子、河合優子、塩谷 香＝編著 ISBN978-4-8243-0195-6
「育みたい資質・能力」につながるカリキュラムに焦点を当てて

◆幼児理解の理論と方法 神長美津子、岩立京子、岡上直子、結城孝治＝編著 ISBN978-4-8243-0197-0
発達や学びの過程に生じる「つまずき」に焦点を当てて

◆子どもと表現 島田由紀子・駒久美子＝編著 ISBN978-4-8243-0183-3
応答性豊かな保育者になるために

◆保育・教職実践演習 神長美津子、田代幸代＝編著 ISBN978-4-8243-0196-3
学びの軌跡の集大成を目指して

◆子どもと環境 神長美津子、高柳恭子、桂木奈巳、青木康太郎＝編著 ISBN978-4-8243-0198-7
子どもの感性をひらく保育者のかかわり



〒110-0016 東京都台東区台東 3-29-1 ・ TEL.03-6387-3196 ・ <https://www.chuohoki.co.jp/>

新刊

マンガと事例でポイントをつかむ 幼児教育・保育方法論

編著 開 仁志
ISBN 978-4-909378-72-9 B5判・176頁 カラー口絵付
定価 2,310円 (税込)

あなたとともに考える 子ども家庭福祉

子どもまんなか社会を実現するために
編著 渡邊慶一
ISBN 978-4-909378-68-2 B5判・184頁 カラー口絵付・本文2色刷
定価 2,420円 (税込)

近刊

保育の心理学

—子ども理解をケアにつなげる—

編著 申崎幸代
ISBN 978-4-909378-70-5 B5判・176頁 カラー口絵付
定価 2,310円 (税込)

哲学的な考えをいかす

新・教育原理

—教育と保育を考える—

編著 伊藤潔志
ISBN 978-4-909378-71-2 B5判・176頁 カラー口絵付・本文2色刷
定価 2,310円 (税込)

新・子どもの食と栄養

2025年2月
第2版

編著 今津屋直子・久藤麻子 B5判・定価 2,200円 (税込)

マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ

保育内容総論

2024年2月
改訂新版

編著 開 仁志 B5判・定価 2,497円 (税込)

資質・能力を育む

保育内容領域 人間関係

—子どもにとっての人間関係とは—
編著 齊藤 崇 B5判・定価 2,200円 (税込)

新・保育内容「環境」

ラーニング・ストーリーで綴る学びの記録
編著 永淵泰一郎 A5判・定価 2,200円 (税込)

指導法もいっしょに学ぶ

保育内容「言葉」

2025年1月
第2版

編著 浅井拓久也 B5判・定価 2,090円 (税込)

考え、実践する

施設実習

2024年10月
新版

編著 浦田雅夫 B5判・定価 2,530円 (税込)

新・保育の計画と評価

—理論と実践をつなぐ保育カリキュラム論—

編著 前田和代 B5判・定価 2,200円 (税込)

実践事例を通して具体的ななかかわりを学ぶ

保育現場における特別支援

編著 松井剛太・七木田敦 B5判・定価 2,200円 (税込)

子どもの発達連続性を支える

保育の心理学

2025年1月
第2版

編著 浅井拓久也 B5判・定価 2,530円 (税込)

新しい時代の保育者論

編著 須藤麻紀 A5判・定価 2,200円 (税込)

哲学的な考えをいかす

新・保育原理

—保育の未来を考える—

編著 伊藤潔志 B5判・定価 2,300円 (税込)

〈子どもの遊びと児童文化をつなぐ〉

子どもの文化

理論と実践から学び、考えよう
編著 宮野 周 B5判・定価 2,200円 (税込)

K 発行・販売
教育情報出版

〒557-0055 大阪市西成区千本南1-18-24
TEL 06-6658-8741 (代) 06-6651-5012 (編集部)
FAX 06-6652-2928



info@kyoiku-joho.jp
http://www.kyoiku-joho.jp

日本保育者養成教育学会 第9回研究大会

実行委員会

大会長：松田 広則（鎌倉女子大学児童学部）

委員長：小泉 裕子（鎌倉女子大学短期大学部）

委員：上田 陽子（鎌倉女子大学短期大学部）

委員：関川 満美（鎌倉女子大学短期大学部）

委員：高橋 宗良（鎌倉女子大学児童学部）

委員：花岡 隆行（鎌倉女子大学児童学部）

委員：松尾 瑞穂（鎌倉女子大学児童学部）

運営委員：

相澤昭宏（鎌倉女子大学短期大学部） 太田敬子（鎌倉女子大学短期大学部）
金子智昭（鎌倉女子大学短期大学部） 幸喜 健（鎌倉女子大学短期大学部）
榊原久子（鎌倉女子大学児童学部） 薩摩林淑子（鎌倉女子大学短期大学部）
白子純子（鎌倉女子大学短期大学部） 杉山勇人（鎌倉女子大学短期大学部）
高須正幸（鎌倉女子大学短期大学部） 中島朋紀（鎌倉女子大学短期大学部）
西島大祐（鎌倉女子大学短期大学部） 寶川雅子（鎌倉女子大学短期大学部）
細野美幸（鎌倉女子大学短期大学部） 山成美穂（鎌倉女子大学短期大学部）

大会運営事務局

名鉄観光サービス株式会社 仙台支店（担当：植松・門間）

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁10-3 JMFビル仙台01 6階

TEL：022-227-3611 FAX：022-261-4623 Email：hoikusyayousei09@mwt.co.jp

【日本保育者養成教育学会について】



日本保育者養成教育学会は、一般社団法人全国保育士養成協議会における研究活動を前身とし、平成 28 年 3 月 22 日に発足しました。本学会の特徴は、研究者のみならず幼稚園、保育所、認定こども園その他さまざまな施設の保育者による協働によって保育者養成教育に関する研究活動を進めていく点にあります。学会員数は現在 1,100 人ほどおられます。

研究者と保育実践の場で活躍する保育者が、互いの特長を活かし「未来を支える保育者」の養成について考えるとともに、「こどもまんなか社会」の実現に貢献できるよう取り組んでまいります。

(学会 HP (URL : <http://www.h-yousei-edu.jp/>) もどうぞご覧ください。)

日本保育者養成教育学会第 9 回研究大会プログラム・抄録集

発行日：2025 年 3 月

発行者：日本保育者養成教育学会

印刷：名鉄観光サービス株式会社 仙台支店



「水辺に咲く花」

表紙・裏表紙デザインについて

鎌倉女子大学短期大学部専攻科生が、専攻科基礎演習の授業にて作成をしました。短大の2年間で培った学びをさらに深め、実践力、表現力等の向上を目指すこの授業。新たな表現活動の研究として、『サンドアート』にチャレンジをしました。(2024年度鎌倉女子大学短期大学部専攻科クラスアドバイザー：上田陽子)